

# 經濟危機・その根源—現代金融帝国主義



[經濟危機・その根源—現代金融帝国主義\\_下载链接1\\_](#)

著者:鎌倉 孝夫

出版者:新読書社

出版时间:2001-7

装帧:单行本

isbn:9784788051072

本書は、一九八〇年代後半から新世紀初年度にかけての日本経済、それとの関わりで

のアメリカ経済の分析を試みたものである。七一年八月のドル・金交換停止によって基軸通貨・ドルは実質的に形骸化しながら、しかし資本主義各国間の協調(アメリカの軍事力を背景とした各国への制裁、威嚇が加わった中で)によって今日までドル体制が維持されてきた。しかし、九〇年代後半以降の全世界的規模での通貨・金融投機、それによる各国実体経済の攪乱こそ、ドル体制維持策の結末といえる。結論的にいえば、今日の経済危機をもたらしている根源は、現代的金融資本の全世界的展開による金融帝国主義にある。こうした現実経済の実態分析をふまえながら、経済危機克服への基礎的理解、基本的方向性をも明かにしようと試みる。

作者介绍:

目录:

[経済危機・その根源ー現代金融帝国主義\\_下载链接1\\_](#)

## 标签

马克思主义及其研究

镰仓孝夫著作集

镰仓孝夫及其研究

经济学

日本马克思主义及其研究

政治经济学

宇野学派及其研究

日本马克思主义宇野学派及其研究

## 评论

-----  
[経済危機・その根源—現代金融帝国主義\\_ダウンロード1\\_](#)

书评

-----  
[経済危機・その根源—現代金融帝国主義\\_ダウンロード1\\_](#)